

巻頭言

「広島国際大学 医療経営学論叢」最終号を迎えるにあたって

この度、広島国際大学医療経営学科の紀要として発刊しておりました本誌「広島国際大学 医療経営学論叢」は、この第14号をもって最終号となりました。来年からは、昨年創設されました健康科学部の紀要である「HIU 健康科学ジャーナル」にて、医療経営学科の研究成果を発信して参ります。

本学医療経営学科は、1998年の開学とともに医療福祉学部医療経営学科として設置されました。その後2011年に医療経営学部医療経営学科への改組を経て、2020年健康科学部医療経営学科になり現在に至ります。

健康科学部には、医療経営学科、心理学科、医療栄養学科、医療福祉学科が設置され、「健康」を多角的な視野からアプローチする、未来の健康ニーズを先取りした先進的な学部となっています。本学部の創設に伴い、各学科の学科紀要を学部で統一し、この度「HIU 健康科学ジャーナル」が創刊される運びとなりました。

医療を巡る環境は、本誌が創刊された10数年前と比して大きく変化しています。とりわけ現在では、COVID-19の感染拡大を受け、ウィズ・コロナおよびアフター・コロナに向けた新たな医療と社会、そこに適した医療制度のあり方とその構築における大きな転換期を迎えています。医療経営学はそうした刻々と変わる社会の要請に応え、進化する学問です。今後も学部紀要のなかで、医療経営学の新しい潮流を発信し、医療経営学科の研究成果を報告していく所存であります。

今後も医療経営学をリードする学科として、さらに大きく発展を遂げるよう、学科教員一同、鋭意努力して参ります。引き続き、医療経営学科の研究・教育活動にご支援賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

2021年4月

広島国際大学 医療経営学科

学科長 林 行成